



水土里情報を活用したストックマネジメント事業の活用事例について紹介します。

(1/2)

今回紹介する団体：水土里ネット滋賀、滋賀県

取組概要

内容：○土地改良施設の効果的・効率的な保全更新対策を実施していくため、水利施設の基本諸元や補修履歴、診断評価などの各種情報を水土里情報システムに入力し、関係機関と施設情報の共有を図る。

経緯：○本県の農村地域には、基幹水利施設として農業用ダムや揚排水機場など125箇所、末端水利施設を含めた農業用の用排水路にあっては、総延長13,000kmにも及ぶ膨大な水路が張りめぐらされているが、施設の多くは整備後30年以上が経過しており、年々老朽化が進行している。

○また、農業者の減少・高齢化、農村の混住化が進行し、土地改良区や農業者の共同作業が支えてきた水利施設等の維持管理体制が脆弱化している。

○農業水利施設の適正な保全と計画的な更新を行い、あわせて地域ぐるみの協同活動を推進するなどにより、本県の農業生産に不可欠な社会資本である農業水利施設を保全する対策が必要。

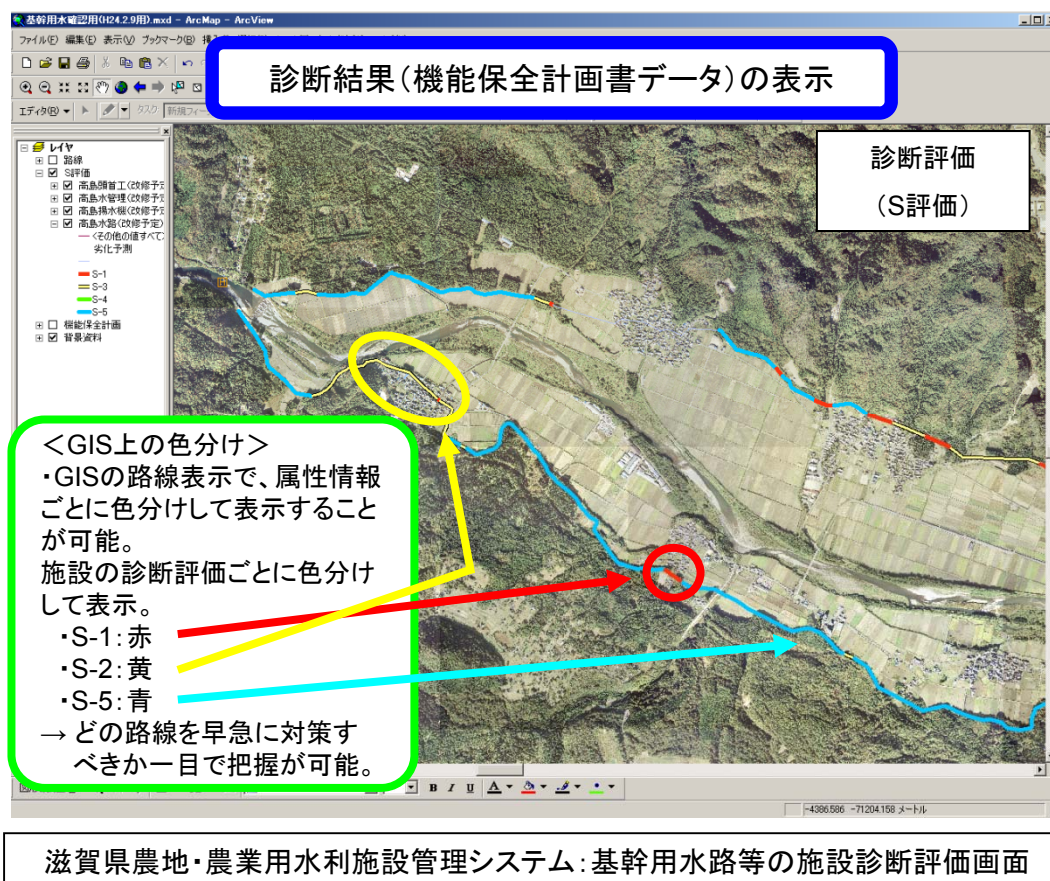
○水土里ネット滋賀にアセットマネジメントセンターを平成25年度に設立し、関係機関と連携しながら、滋賀県農地・農業用水利施設管理システムに農業水利施設の各種情報を入力し、本システムの効果的な運用に向け、検討を実施。



滋賀県農地・農業用水利施設管理システム：基幹用水路等の施設画面

期待される効果

1. 地図情報で蓄積された情報は、関係機関にフィードバックし、日常管理や機能保全計画の策定等に活用。
2. 施設の診断評価(S1～S5)等を着色表示することにより視覚的に把握ができ、関係機関との情報共有が可能。



今後の活用予定

関係機関と情報共有を図り、効果的・効率的な土地改良施設の保全更新対策を実施していくために、水土里情報システムの活用を推進していく。

■お問い合わせ先

滋賀県土地改良事業団体連合会 アセットマネジメントセンター 0748-42-7144(直通)

農林水産省農村振興局整備部設計課計画調整室(細川、溝添) 03-6744-2212(直通)